

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズplus		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	担当制ではなく多職種連携を行いながらお子様一人ひとりの寄り添った支援の提供	お子様や保護者様のニーズを踏まえ、多職種が話し合いを行いながら計画を立案し、支援の提供に努めています。	社内外での研修参加による個々のスキルアップや動画での実例検証を用いてより細やかな支援の提供を行います。
2	お子様が能動的に活動できる環境	遊びたい、やりたいと思える遊具や玩具を準備しお子様が自発的に選択し遊びを実行できる環境設定をしています。	お子様が興味を持って選択できる環境設定として月に1つ新しい玩具の購入を行い、遊びや興味の幅を広げていきます。
3	3つの大きさの部屋があるため、お子様の状態やニーズに応じて環境を選択可能	お子様のニーズや状態に応じた部屋を使用し療育提供を行っています。	状況に応じた柔軟が対応ができるよう配信アプリ「コノベル」を通じて空き枠の発信を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2事業所運営による、情報の共有に工夫が必要	2階、3階で事務所が別であるため、毎日の食事時間に情報を共有したり情報共有時間として決まった曜日時間に場を設けています。	デジタル機器の活用や現在より情報共有や症例検討ができる時間枠を広げ、お子様の状態把握を行った質の良い支援を提供していきます。
2	待機の方が多くご不便をかけている状態	1クールの卒業を目指して療育を行っているが卒業の基準やお子様も成長の変化を感じていただきにくい現状です。	安心して卒業していただける体制づくりとして必要に応じて検査を行うなど様々な形を模索していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズplus				公表日	2026年 3月 日		
	利用児童数	2026年 1月 5日			回収数	15		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	1	0	・ぬいぐるみは少し古く汚く感じる。 ・部屋かエアコンかの生乾き臭がする。	ぬいぐるみは、状態に合わせて買換えて行くようにします。 エアコンの掃除の頻度を今より多くしていくようにします。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0	園で気になったことなどをお話すると、すぐに取り入れてくださる。	今後もニーズに応じた支援内容を提案していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	1	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	4	0	0	・家庭での関わり方をもっと教えてもらえたら嬉しい。	家族支援プログラムの充実を図り、機会を設けていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	2		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	1	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	2	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	0		今後も安心して通所していただけるよう、支援内容、安全確保、様々な対応スキルの習得や向上に指導員一同、努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0		アンケートにご回答いただきありがとうございました。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0		引き続き、皆さまにお声をいただきながらより良い支援ができるよう邁進していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
リハビリ発達支援ルームUTキッズplus		2026年 3月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		キャンセル待ちを設け、その日に空き枠が出たら速やかに連絡し利用定員を調整しています。1時間の上限人数を決めており十分に活動できるスペースを用意しています。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		子ども家庭庁が定める通りもしくはそれ以上の配置です。	満たしているが、より良い支援に繋げていくことができるよう人員が増えたらうれしいです。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	要請があればいつでも介助ができるよう心掛けています。	エレベーターの設置が構造上困難であるため、階段の異動となりバリアフリー化が出来ているとは言えない環境です。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃や毎月遊具チェックを行うことで、マットを新品への変更するなどの対応を行っています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		マットで囲むなどの空間を仕切り、スペース確保を行っています。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		PDCAサイクルで業務の効率化に繋がっています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向け評価の集計を行い、保護者等の意向を把握を全体で行い、できうる限り業務改善に繋がっています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティング(個人、全体)を取り入れる機会を設けています。	今より頻繁に行えるよう改善していきたいです。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		実地指導を令和7年度受けております。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年定額の研修費制度があり、自分で選択して研修に参加できます。また、法人、事業部での研修が開催されています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		個々の支援に向けた検査等新しい方法への導入を進めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画書作成会議を実施し、児の現状の共有や強みの把握を行いながら計画書を作成しています。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援前には必ず、日々の記録や計画書の内容を把握すると共に、必要に応じて情報共有を行いながら支援を提供しています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		ニーズに柔軟に対応できるよう努めています。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		計画書作成の際には具体的な支援内容になるよう職員同士の話し合う機会を設けています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		チームで行い、実施共有を行っています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		担当制ではなく様々な職員が強みを活かし支援メニューを考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		必要に応じて行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		集団療育は都度十分に行い、個別でも同室児の遊びの内容を把握療育室内の環境を有効に使用できるように連携、工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		個別療育の為当日のその後は難しいが、後日の共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の記録を入力し、検証や改善ができるよう取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月毎、必要に応じて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		集団療育、言語療法は担当が決まっているため担当者が児童発達支援管理責任者と共に参画するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		行えるようにしております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に則して実施しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に則して実施しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		現在は出来ていないが必要に応じて今後体制を整えたいと思っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		現在は設けていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		共通理解できるよう努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	年に数回設ける計画をしています。	今年度は保護者勉強会が実施出来ていません。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		インテーク時や変更があった際に、都度行うことができるようにしています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		行うことができるよう時間を設けています。さらに相談が必要な場合は、家族支援加算でお話もさせていただく機会も設けています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		毎回行っています。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		家族支援加算や子育てサポート加算を有効に活用していただけるようご案内しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		新一年生になる保護者様を対象に交流会の実施を行っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		できる限り迅速、適切に対応できるよう日々努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		コノベルの導入やインスタグラムの投稿などを行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		自己判断せず上司や同僚に相談しながら十分留意し、取り扱いを行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		絵カード、写真カード、タブレット、PECSなど子どもに合わせたツールを使用し意思疎通や伝達を行えるよう支援内容を工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		utフェスなどの地域で開催するイベントを通じて地域交流を行っています。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		年間計画に基づき実施しており、実施した際は周知できるよう取り組んでいます。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎年行っています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		把握し対応できるようにしております。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		食事の提供はありませんがイベントでおやつを配布する際も毎回アレルギー確認を実施し提供しています。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		避難訓練の実施を随時行い、職員間での話し合いも行っています。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時にご説明しており、待合室にファイル資料を配置しています。	利用児や保護者様と一緒に訓練はまだ実施できていないため今後実施していくことを検討中です。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		その場の再現などを通して職員間の話し合いやどうしたらいいのかなどの改善を出し合っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		毎年研修を行い、予防や万が一に対して適切な対応をできるよう話し合いを行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		緊急、やむを得ず身体拘束を行う場合の3原則に基づき対応と記録をすること、その後拘束がなくとも安全を確保できる方法を検討し対応ができるよう心がけています。		